

仮称

## 文化・スポーツの

## 市民の意見や要望

(仮称) 文化・スポーツの森公園  
完成予想図

※一部変更する可能性もあります。



1. 施設整備計画
  - (1) 図書館・蔵書見込み 20万冊  
建築延面積 3,000㎡
  - (2) 芝生広場 14,000㎡
  - (3) 公園 4,200㎡
2. 全体面積 36,000㎡
3. 事業予定年度 平成4年度～6年度

**道路の補修及び改良**

○関川みやさん宅からスポーツ公園までは工業団地のエリア内であるので、来年度碎石を敷き転圧をかけ対応します。(篠本二区)

○傍示戸・新井間の道路は、用地の確保ができれば局所的な改良を検討します。(新井)

○栗原台の町道修復については、危険防止のためのロープの設置を計画しています。(小川台)

**道路の舗装**

○集落内道路の拡張工事については、鋭角になっている上部の用地確保が得られれば、その部分をすみきりする方法で対応します。(小田部)

を行い、やすらぎのある居住地の確保により、大勢の人々が定住できる地域づくりを行います。

東陽地区は(仮称)文化・スポーツの森公園を建設し今後ますます増大する余暇時間の到来に伴い、積極的な文化活動と併せ、生涯学習のできる拠点としての地域づくりを行います。

白浜地区は(仮称)複合スポーツ施設の建設により市民だれもがスポーツを通

じて親しくなれる機会を提供するとともに、家族ぐるみで汗を流すことができる地域づくりを行います。併せて、民宿利用客などへも施設を開放し、民宿等の育成も図ります。

いずれにしても、車社会という今日の現実を踏まえた場合、どうしてもさけて通れないのが道路問題です。特に、幹線道路網の整備は急務を要しますので、市民の皆さんの絶大なる理解と

協力のもとに全力で行う必要があります。

また、町は近隣市町よりもかなり高齢化が進み、今年度当初の65歳以上人口(高齢者人口)は全体の18・9%となりこのままでいくと平成7年には約22%の人が高齢者になります。そのため、これからは高齢者生きがい対策創生事業を核として、お年寄りの皆さんの生涯学習の場の確保と併せ、きめ細かな福祉対策を行っていく必要があります。

## 道路

## 補修及び改良と側溝整備に多くの要望

福祉計画を作り、安心でやすらぎのある生活が送れるように努めていきます。

ゴミ対策を始めとする環境問題については急務を要するので、原点にたちかえり抜本的な見直しを行います。その際には、「5分別集収」、「広報車による啓発」、「幼稚園・小学校児の時から

ら指導」、「広報紙にきたないところを掲載する」、「海水浴場の開設期間中袋を配り、ゴミの持ち帰り運動を行う」、「不法投棄をした人に罰則を課す」などといった意見などが出されましたので、それらを参考にした対策を講じていきます。

○星宮神社地先の町道は現況測量が済んでいるので、今後は集落と協議しながら進めていきます。(台)

○若梅地先の路肩補修は、集落と消防との意見の相違があるので、意見調整が図れば行います。(傍示戸)

○鬼来迎駐車場取り付け道路は碎石の敷きならしにより対応します。また、一部用地がかりますので、協力をお願いします。(虫生)